

学校だより

Vol. **96**
2014.4

Contents

- | | | | |
|----|---------------|----|---------------|
| 02 | 卒業式・専攻科修了式告辞 | 21 | 全国高专デザコン・プレコン |
| 04 | 祝 卒業・修了 | 22 | クラブ活動等の結果 |
| 17 | 卒業生・修了生の進路 | 25 | 退職あいさつ |
| 18 | 学生会 | 27 | 改修工事 |
| 19 | 磐陽祭 | | |
| 20 | 全国高专ロボコン・プロコン | | |



福島工業高等専門学校

第9回専攻科修了証書授与式・ 第48回卒業証書授与式



第9回専攻科修了証書授与式・ 第48回卒業証書授与式 告辞

福島工業高等専門学校 校長 奈良 宏 一



修了生・卒業生諸君、修了・卒業おめでとうございます。

本日、ここに、多数のご来賓と、修了生・卒業生の保護者の皆様のご臨席をいただき、第9回専攻科修了証書授与式並びに第48回卒業証書授与式を実施できますことは、教職員一同、誠に慶びとするところであります。ご多用中にもかかわらずご出席いただきましたご来賓の皆様ならびに保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。

本日、本校を巣立つのは、専攻科の、機械・電気システム工学専攻8名、物質・環境システム工学専攻7名、ビジネスコミュニケーション学専攻5名の専攻科修了生計20名、並びに、本科生として、機械工学科37名、電気工学科29名、物質工学科34名、建設環境工学科35名、コミュニケーション情報学科32名の計167名です。

修了生・卒業生の諸君、諸君が本日ここに晴れて卒業式を迎えることができるのは、これまで、日々、勉学に励み、精進を重ねてきた結果です。諸君のこれまでの努

力に敬意とお祝いの気持ちを表したく思います。また、本日の諸君が晴れてこの卒業の日を迎えられるのは、ご家族の皆様の愛情や援助と、教職員の熱心な指導のお陰でもあります。諸君を育んでくれたすべての方に、感謝の気持ちを持っていいただければ幸いです。

修了生・卒業生の保護者・ご家族の皆様には、本日で卒業のお子様をこのように立派に育て上げられましたことに敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。誠にありがとうございます。

修了生・卒業生諸君がこれから活躍する日本の現状は、経済が多少上向きつつあるとはいっても数多くの課題を抱えています。国民総生産の2倍にのぼる国の債務、少子化、団塊の世代の大量退職による技術・技能の空洞化、超高齢化社会とそれに伴う医療問題や社会保障制度問題などこれからの日本の工業の発展に影響を与えそうな問題が数多くあります。さらに、原子力発電所事故に伴って方針転換を余儀なくされた日本のエネルギー問題は国論を二分する大論争を引き起こしています。今後の日本を担う若い皆さんにとっては、先行きが極めて不透明と言わざるを得ません。

一方、地元の福島県に目を転ずれば、東日本大震災からすでに3年が過ぎたにもかかわらず、原発事故による放射線の影響がいまだに大きく、まだ、多数の人々が避難生活を続けているほか、除染すら実施できない地域もあります。このような状況の中、今後、福島県、特に、この浜通り地域にどのような産業を興し、どのように地域を再生していくかは、この地域に住む私達にとっての大きな課題です。



このような背景から、諸君は、好むと好まざるとにかかわらず、東日本大震災で多くの課題を抱えた福島県や困難に直面する日本にとっての大きな力として社会で活躍願わねばなりません。疲弊した地域を再生し、厳しい状況を打破して活力ある日本にするためのさまざまな仕事は諸君を待っています。このような社会からの期待に対して、諸君は、本校で学んだ自らの専門分野を通じて社会に貢献していかなければなりません。

日本は、これまでも、幾つかの困難な時代を克服してきました。明治維新や太平洋戦争後の社会など、それまでの社会構造や人々の考え方が劇的に変化した困難な時代にあっても、世界の動向を知る若い人材や国民の知恵で、日本を一流国に作り上げてきました。今、情報が一瞬にして世界を駆け巡るグローバル化の中で、日本は、明治維新や太平洋戦争後に匹敵する程の社会構造の変革を行わねば、一流国を維持することは困難かもしれません。この数十年において、最も知恵や変革を必要としている時代であると考えられます。当然、社会構造の変革は、どのようなものであれ、個人の力や知恵だけで出来るものではありませんが、少なくとも個人が自らの意識を変革することができなくては、社会のイノベーションなどは起きません。まず、諸君一人一人が、何をなすべきか、自覚することです。

「人として生まれたからには、太平洋のように、でっかい夢を持つべきだ。」これは、ご存知のように坂本龍馬の言葉です。この言葉を、困難な時代にあって、日本人として何をすべきかを考え、高い理想かもしれない目標に向かってチャレンジングであれと解釈すれば、今の

日本にも当てはまります。諸君も、高い理想を持って自分の専門的能力を磨き上げ、自らの専門分野での社会への貢献の程度を上げることは可能です。

この50年間、高専卒業生が社会から多くの賛辞を得てきた理由の一つに、多くの高専卒業生が身につけている独特の能力があります。その能力とは、何にでも立ち向かう果敢性、変化に柔軟に対応できる柔軟性、そして、未知のことにも器用に対応していく器用さだと思っています。このような能力を高専スピリッツまたは高専魂と呼んでも良いかと思います。諸君は、この高専魂をもって、幕末の志士や戦後の若手官僚のように、この困難な国情に対応可能なよう、さらに、弛まぬ研鑽を重ねて下さい。自分なりの目標に向かって、一步一步、自らの能力を少しずつ高める努力を惜しまないことを期待します。

本日までに、諸君が本校で身につけた十分な基礎力と、それに基づく創造性と実践性、そして、寮やクラブ活動などで培った人間力は、これからの福島県や日本を考え、大きな夢を実現するための努力を支えるのに十分なものです。さらに、継続的な努力と目標に向かって成し遂げようとする意志を加えれば、これからの人生において諸君が直面するであろうさまざまな競争に打ち勝ち、また、さまざまな困難をも克服できるはずです。

自らに自信を持って、健康に留意し、すばらしい人類の未来、日本の未来、地域の未来を築いて下さい。

最後に、諸君のこれからの人生が幸多いものであることを祈念して告辞と致します。



機械工学科

DEPARTMENT OF MECHANICAL ENGINEERING

はなむけの言葉

機械工学科 5年担任 鄭 耀陽

皆さんそれぞれの5年間はいかがでしたか。あっという間の5年間でしたね。人それぞれの思いは違うでしょう。とにかく、福島高専での5年間は君たち未来を築く財産となるでしょう。これから新たな世界に旅立とうとしている君たちに臆う言葉を送ります。

今思えば、私が担任に就任したのは3年前の震災の年、いつもの年と随分異なりましたね。皆さんにとっては3年目の始業は通常の4月初めでなく、5月の連休明けでしたね。震災の影響で待ちに待った学年行事も中止になってしまい、本当に残念でしたね。そんな困難の状況で、この力不足な担任についてきてくれて、感激で胸が熱くなります。

就職や進学で苦労した人にとっては震災、不景気どころでないと感じた人もいるでしょう。しか

し、これがいいきっかけとなり、これからのどんな有意義な人生を送り、どんな人生設計するのかについて考える時間を提供してくれたと思います。

ここで敢えて厳しい言葉を君たちに送ります。まず、社会は学校ではない。学生気分で行動すると、大抵失敗に終わる。また第一印象は挨拶の仕方、服装の着方で決まるので、これから君たちは自覚して社会人として行動してください。

まだ言いたいことは山盛りですが、説教となってしまうので、ここで止める。それでもまた話が聞きたくなったら、研究室にいらっしゃってください。実はひそかに君たちのこれからの活躍を楽しみにしています。なにか成果あげたとか、仕事が順調に進んでいるとか。君たちの報告を待っています。

機械工学科

10kg 野球 やめて太りました。これから痩めます。 佐々木 大	5年間はあるという まに過ぎていきま した。99%のことか あり、充実した生活 を送ることができま した。 小島 勇人	5年間好きな部活を 続けることができた。 クラスも5年間いて あそぶことがメン 楽しいメンバーで あった。 飯塚 彬	2年生の文化祭で シンジ役をやり ました。 逃げてちゃ ためた!! 栗原 良平	5年間という高専で の学校生活は、とても 長かったと感じました。 様々な経験を通して 自分自身を成長させる ことができたと思います。 鈴木 将士
1回も休まずに学校に 通いました。でも運動費 は取れませんでした。 ですがそれよりも価値 のある学生生活を送る ことができた。クラスメイトには 大変感謝しています。 みんなありがとう。 蓮藤 光流	40人(くらい)の 仲間で、みんな 素直でいい人。5年 間の最高の5年間だ と、さよならは言え ない。また会いま しょう。 吉田 智弘	4年間体育委員 をやりました!! 1人1人が個性 で、笑いの絶えない 毎日を送ることが できた。 佐藤 裕	5年間、随分と 色々なことを 経験することが できた。バカに していい。全 員、励ましに行 ってやる。 5年間、勉強 おつかい。 黒田 大輝	5年間素晴らしい 仲間と最高の学校 生活を送ることが できました。 本当にありがとう。 佐藤 秀俊
1Dにハマってます。 みんなも聴いて下さい。 I Love Best Song Ever!! 小山 伸也	4回ほどお休みを 頂戴しましたが、自由 にやっていた証です。 小川 勝男	5年間副委員長を やりました。 楽しい事、つらい事 がありました。良い人 生経験になったと思 います。 高橋 寛爾	喜び、悲しみ、感動、落 胆、全てを味わいま した。僕がチキムヤ ありません。 みんな、ありがとう。 10th 山野 真世	5年間という時間 が僕に力を与え た。またどこかで... 能崎 亮平
5年は長いかなと思 え、お別れという瞬間 は、みんなのおかげで 楽しい時間があった。 鈴木 賢人	0.5年でバレーをや りました。みんな おめでとう。僕も がんばって、僕も 楽しんで、みんな の笑顔が、僕に 力を与えてくれた。 山崎 博	3年間委員長や りました。みんな の個性が、僕に 力を与えてくれた。 楽しい時間があった。 根本 新大	5年間という長い 短い期間をみんな と過ごすことが、 僕に力を与えて くれた。みんな、 ありがとう。 牧田 哲陽	100年後まで 忘れません。 たのしい 5年間でした。 青木 大輝
5年間、留年すること なく、クラスのメン バーとして過ごす ことができた。特に 4、5年のときは、 みんながスリッパを 履き、受けてくれた。 田倉 弘一	1年のころは体重が 70kgくらいで、 かき出しは、美味 し。そして、今は 90kgに、やせまし く。 遠藤 大輝	5年間、学級委員 をやりました。個 性的なクラスメ イトと過ごすことが できた。5年間、 楽しい時間があ った。 柳原 祐太郎	5年間、野球とサカ キをやりながら、 勉強も、順位を 取り続けることが できた。本当に いいクラスで、 楽しかった。 乙山 克彦	1度りの高専生活 のクラスで、過 ぎて楽しかった。 ありがとう。ご ざいました!! 松崎 慎助
5年間、留年すること なく、クラスのメン バーとして過ごす ことができた。特に 4、5年のときは、 みんながスリッパを 履き、受けてくれた。 矢代 寛平	5年間を通して、大 きな成長を感じま した。何年後かに、 また会いま しょう。 渡辺 泰希	2年間委員長を やりました。最高 の先輩、最高の 後輩、そして最高 のクラスメイトと 過ごす5年間は、 一生の財産です。 本当にありがとう。 荒川 了紀	5年間、何もかも 経験しました。 充実した学生生活 でした。 遠藤 智恵	2年間とても楽し く過ごすことが できました。本当 にいいクラスで す。ありがとう。 熊田 敦
5年間、クラスの仲間 と充実した学校生 活を送ることができ ました。またいつか みんなであつまれ たらうれしいです。 宮澤 雅俊	1年間ラフビーを やりました。変な 奴ばかりのクラス でした。5年間、 ありがとう。 小松 尚樹	3年間、クラス のみんなの おかげで、楽し く過ごすことが できました。波 乱万丈な学生生 活でしたが、た くさんの経験が ありました。本当に ありがとうございました。 中藤 夏海	5年間、いろいろ あったけど、なん でも楽しかった。 みんな、ありがとう。 で、(笑) 逆見 祥平	偉大な先輩と、5年 間の高専生活で 学びました。 楽しい時も、つ らい時も、みんな のおかげで、 乗り越えられました。 機械科、楽し かったです!! 鈴木 啓人
5年間、ありがとう ございました。 またどこかで会 いたらすくお願 いします。 組員 裕紀	60ヶ月。長い と思いましたが、 一瞬のうちに、 過ぎました。10x!! 増子 大	We Need Gold, Authority & Girlfriend!		

電気工学科



DEPARTMENT OF ELECTRICAL ENGINEERING

卒業してゆくみなさんへ

電気工学科 5年担任 伊藤 淳

卒業、おめでとうございます。いよいよ、5年間過ごした高専から、巣立つ季節を迎えました。時の移ろいは早いもので、制服姿だったみなさんの担任となってから、もう3年が過ぎようとしています。まだ少年、少女の幼さが少し残っていたみなさんでしたが、今ではすっかりスーツが似合う立派な紳士、淑女に成長しており、その姿に目を見張ります。

ところでみなさんにとって高専での5年間は実りのあるものだったでしょうか。入学当時に抱いていた目標は達成できたでしょうか。振り返ってみれば、桜咲く季節に不安と期待でいっぱいの学生生活が始まりました。今も爪痕が残る震災では、忘れえぬ記憶として残る異常な経験をしました。社会人の厳しさを学んだインターンシップ、仲間との絆が強まり、知見や見聞を広めることができ

た学年行事、様々なことを体験し、学んだ高専での学生生活は、有意義で思い出深いものと確信します。

これから社会の出るもの、まだ学生を続けるものさまざまですが、あなた方を支えてくれた、保護者の方をはじめ、たくさんの仲間感謝の気持ちを忘れずに、健康に気をつけて頑張ってください。何かの折にでも、近況の報告と活躍している姿を見せに、訪れてくれると嬉しいです。また会える日を楽しみにしています。

電気工学科

5年間ありがとう ございました	5年間でずいぶん がんばりました。楽しか かったです！	ここではないと夢を生活 生きていけなかった。 新機 国治 藤田 平均 44.8	See you again someday!!	
鈴木 聖斗	高木 開	遠藤 直弥	大神 昌也	
5年間とってど たのしかったです	2年間 たけな ったが頑張り ました。	5年間めげずに がんばりました!!	当たり前 のことをし。かり やりとげた！	留年せよとけ られてよかった！
白木 翔太	茶原 舜	大越 祥太	菅野 純平	大庭 将広
五年目にして初 めて再試を回 しました!!	五年間がんばり ましたが、あと 二年間もがんば ります!!	5年間楽しかった です。ありがとう ございました か。涙も流した	リベンジコースで 頑張った!!	五年間、勉強の 努力 頑張りました
鈴木 啓五	上達野 涼	高橋 真奈和	北田 耕平	青木 亮太
Thanks!!	5年間無事に過 ごすことができてよ かった!	5年間充実した 生活を送ること ができて楽しか いです 長久保 将大	楽しく、しゃが れ。勉強をがんば った	5年間 がんばった! 大学でもがんば る!
柴田 直樹	今 勇喜	長久保 将大	渡辺 侑馬	君島 拓美
一年から5年まで 落ちずすんでよ かったです。	5年間本当に 楽しく過ごせました! ありがとう!	5年間楽しく 生活できて よかったです。	この5年間は 一生の宝物です。 ありがとうござ いました。	最高に楽しい 5年間でした
蛭田 泰弘	五十嵐 礼	齋藤 匠	堀 慎太郎	吉田 貴裕
全てのひとに ごめんなさい と ありがとう	5年間ありがとう ございました!!	5年間ありがとう さようなら また今度。	たぐひの人のあが てニきでくること ができました ありがとうニき ました	ありがとう
遠藤 祐己	佐藤 洋平	阿久津 祐哉	木本 拓樹	大久保 克己

物質工学科



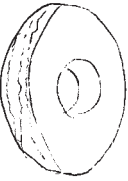
あのバラの花に責任があるんだよ

物質工学科 5年担任 車田 研一

卒業する34名の皆さんへわたしなどがなにか小文を贈るということになってやや頭を掻いていたところ、ふと、ほど近い四倉病院でかつて院長をしておられた武野^{たけのしゅんや}俊弥医師が1991年にチューリヒのユング研究所にだされた精神分析家資格論文を日本語でまとめた著書『分裂病の神話』（新曜社）を久しぶりに手にとりました。冒頭にテグジュペリの『星の王子さま（松代・椎名訳）』が引用されており、「きみにとってあのバラの花がそんなにだいじなものになったのは、あのバラの花のために時間を使ったからだよ」というフレーズが引用されています。終章第四節は「永遠回帰と永遠反復」というニーチェを引用した短節で、ひとが、「時間のとりかえしがつかない本質的性質（歴史性）」にたいする恐怖から、時間に無限の反復性をくみ

こみ、曆をつくって永遠反復性（無歴史性）の神話システムへみずからをくみいれていった、というようなひとの社会の成立の元型が説かれています。じつは今朝は3年間弱続いたHRの最後の日で、明日以降、もうにどと皆さんとのHRはありません。永遠反復から永遠回帰へ時間が相転移する朝だということになります。あの日から、わたしも皆さんといっしょに3年ぶんだけ歳をとりました。上のテグジュペリの一節がこれからだんだんと実感になっていけばよいなと想い、そしてそれ以上のことはわたしからはありません。きっとこれから皆さんそれぞれの時間のなかでそれぞれにこの時代を思いだすでしょう。千回くりかえされた反復的なHRの朝も、皆さんそれぞれのなかで歴史へと回帰していきます。卒業おめでとう。

物質工学科

この絆 永遠に... 卒業 28c31 吉田晴秋	特になし ありがとうございました。 渡邊 翔	すべての 出逢いに 感謝!! 遠藤 祐太	1826日! 長い高専生活でした。 お世話してくれた人達 ありがとうございました! 巖木 紘	5年間辛いことも 楽しいこともありま した。 またこれから がんばっていきます 小椋 優奈
あと2年 がんばりま す。五十嵐 達也	 めびたいや! 和田 貴貴	ありがとう オリゴ糖 Oligo saccharide!! 栗子 猪俣	いろいろ がんばりました 斎藤 愛	留年せずに 過ごせて よかったです 鈴木 誠矢
上に向かって、 専攻科2年 がんばります 山口 貴久	 めでたい! 鈴木 絢美	5年間 楽しかったです!! と思う! 後藤 咲季	激動の5年間 でした。(´▽`)/ (´▽`) (´▽`) (´▽`) (´▽`) (´▽`) (´▽`) (´▽`) (´▽`) 加藤 優奈	5年間とても 楽しかったです! あという間でした。 ありがとう ございました。 小泉 亜未
5年間ありがとう。 あと2年がんば ろう。 遠藤 佑太	みなさんお世話 になりました。 あと2年がんば ろう(笑) 田邊 陸	みんな ありがとう ほろりん  (遠藤 遥)	みんな オツカレー カツカレー 細野 貴雄	楽しかった5年間。 ありがとう5年間。 ばいばい5年間。  山口 亜和保
5年間-とても 楽しかったです ありがとう ございました!!  大塚 若奈	5年間 お疲れした。 蛭田 一希	いろいろありまし て少しは成長でき たと思います。 5年間ありがとう 伊藤 裕佳	いかに頑張ったか ありがとうございました。 5年間あという間 でした。 楽しかった!ありがとう。 五十嵐 美里	5年間ありがとう ございました。 楽しかったです。 田中 美帆
11年生!! 初めての文化祭 女体で着ぐるみを 着てフランクヤを 売りました!楽しかった! 加藤 江里子	12年生!! 字年行事で 年中戦ってよし!! 苦しみも乗り越えて 来って(ご)かて みんなに感謝!! お心算 美里	13年生の時...!! 行事があまりなかつ たけど、楽しい年でした。 一番最後に大盛り 行事がありました。 PbCA @ 吉田 晶	14年生!! 前夜祭 みんなでダンス がんばった 楽しい思い出いっぱい! 遠藤 愛美	15年生!! 卒研に没頭する毎日 だったけど思い出 たくさんくれた! 志賀 瑞稀
5年間!はあとい う間でした。 充実した生活を送 れたのはみんなの おかげです。 ありがとうございました! 高崎 麻美	みんなと過ごした 時間はとても楽し かった!! 5年間ありがとうご さいました!! 佐藤 紀和	5年間 ありがとうごさいまし た!! 楽しかったです! by のんさん 村山 希	5年間楽しかった です! ありがとう ございました!! 松崎 優香	

建設環境工学科



DEPARTMENT OF CIVIL ENGINEERING

愛すべき5建のみなさんへ

建設環境工学科 5年担任 森田 年一

「いいクラスだったなあ。やっぱり、担任はいなあ。」これが、卒業を迎えた現在の心境である。この3年間、みなさんと付き合ってみて、今となっては、まさに「心地良さ」だけが残っている。

思い起こせば、みなさんとの生活が始まった時期は、大地震・大津波・原発事故・級友の死という想定外の苦難な出来事が重なった状況でした。17歳で経験するには重すぎる出来事が重なったかもしれません。しかし、一方で、そのような過酷な状況の中でも、この3年間で、(みなさんに自覚は無いかもしれませんが) 日々、成長出来たと感じています。

私自身も、この3年間は家族と離れて暮らす状況でした。時には、途中で担任を放り投げて「転職しちゃおうかなあ。」とか「別の学校に移っちゃおう

かなあ。」などと考えたこともありましたが、そんな思いを引き留めさせたのは、クラスみんなの存在でした。みなさんとの3年間は、とても楽しく有意義な時間でした。担任として、一緒に過ごさせてくれて、本当にどうもありがとう。3月でみなさんは卒業し、同時に私も転任しますが、私にとっては、みなさんが居ない福島高専には何の末練もありません。卒業後に母校を訪ねても、担任が居ないということに対しては、誠に申し訳無く思いますが、どうかお許しください。学校での再会は出来ませんが、会いたくなったら田町の居酒屋へ呼んでください。いつでも喜んで駆け付けます。

「みなさんの将来が幸多きものでありますように。」愛すべき5建のみなさんをいつまでも応援しています。

建設環境工学科

成長期を待ち 続けた5年間で した。ありがとう ございました。 猪俣貴寛	このクラスで良かった です。 5年間ありがとう ございました!! 石森 祥子	長いけど 短い 高専ライフ でした! 猪俣 龍郎	5年間ずっと 太田 かいしました。 来年度から太田は いません。 太田君 ありがとう ございました。 遠藤史実	このクラスでよ かったです。卒業 してもみんなが 集まりましょう。 太田 一夫
高専生活5年間 みんなのおかげで とても楽しかったです。 唯一つに残りは 飯せがでさなれた ことです。 大和田 輝泰	 小野 聖希	かじと楽しかったです。 金子 知世	I APPRECIATE  YOU. 菅野 蓮華	本当に大変な 5年間でしたが、 猪俣もお疲れ様 でした! 木屋 駿斗
色々あったけど 楽しかったです。 草野 孝佳	変なあたがって ごめんさい 悪口言います、ご めんさい 5年間 ありがとう! 小松 隆	この高専生活5年間 は、とても濃く、 私にとってかけがえ のないものになりました。 ありがとう! 藤藤 めぐみ	私の隣には 1つもさしみちゃん がいて、毎日が 楽しかったです。 5年間ありがとう 佐藤 沙里	僕等と一緒に出来て よかったです。 佐藤 高音
幸 佐藤 正晃	拝啓。35才の君へ あつたは、何を して、いますか。苦しい 時があるからこの5年 間を思い出して →keep on believe 菅波 翔太郎	夢は逃げるの 逃げるのは自分だ ↑ そんなのわかるぞ笑 ↑ 菅波 穂香	5年間長かった けど楽しかったです。 ありがとうござい ました。 鈴木 聡美	5年間 お疲れさま でした! 鈴木 信一郎
5年間、みんなの おかげで毎日 楽しく過ごすこと ができました。 ありがとう ございました!! 鈴木 拓実	長いようで 短かった6年 でした。 楽しかったです。 高木 将人	長かった。 高萩 拓	5年間とてもお世 話になりました。 ありがとうござい ました。 高橋 香実	なかなかハードな 遊びを続けた 5年間でした。 みんな一生 の友達。(笑) 高橋 侑矢
感謝 高山直也	卒業できて よかった。 (1)や、(1)まんと まじで。 アタリ 瑞希	足臭くて、ごめんさい。 次会う時までには 良い匂いにしてあげよう。 皆最高です! 3年間ありがとうございました! 野口 祥悟	売店に便、お金 総額5万円 高専で過ごした時間 priceless 久野 豊明	マジで手端ないて こいつら手端ないて 毎日笑いが絶えんもん いじり方なげつないもん そんなこと出来ひんから 野田 早
東京に 来たわと今は 香ましよう 福井 まどか	いつまでも一緒に いたいと思える 人たさでれた。 ありがとう ございました。 松崎 祐樹	旅行のとき、7時出発 なのに7時に起きて す。ごく焦りました。 ごめんさい。 すごく楽しかったです。 横田 隼	楽しい クラスでした! 吉田 晃	5年間、毎日が楽し かったです!! 大阪行さ たかーい。 クラス内のカップル は別れないうちに 頑張れ!! 吉田 隼

コミュニケーション情報学科



DEPARTMENT OF COMMUNICATION AND INFORMATION SCIENCE

蛙の子は、大海を目指す

コミュニケーション情報学科 5年担任 島村 浩

この時期、心がソワソワする。体の芯が何かムズムズする。どうも落ち着かない。これは春生まれのせいかな。でも、この不思議な感じ、嫌いではない。何かが始まる予感。気が付けば、桜の木にも、小さな芽が見える。もう、春なんだ。

春は、動植物すべての生き物が新しい活動を開始する季節だ。始まる前には、終わりがあって、始めと終わりは表裏一体。高専の5年間が終わり、新しいことが始まる。

振り返ればいろいろな事があった。特にこの3年間の出来事は、皆一生忘れられないだろう。夢にも思わなかったことが現実起きて、未だに翻弄され続けている。そして、復旧、復興への長い闘いが始まった。その主役はお前たちだ。何が何でも頑張らなければならない。頑張るためには、気力、知力、体力が要る。この3つが掛け算で効

いてくる。高専生活で、この3つを養ってきたはずだ。様々なことが肥しになって、今のお前たちがいる。頑張れる、頑張ろう。

ここ1年、植物に関わってきた。鬼灯だ。種類も沢山あってそれぞれ個性がある。早く育つやつ、遅いやつ、実がたくさん生るやつ、少ないやつ。姿かたちも違えば時期も違う。本当にいろいろだ。人もまた同じだ。得意、不得意、好き、嫌い。十人十色で皆違う。それぞれに合った場所、合った仕事があるだろう。好きなこと、得意なことを活かして、そこで大きくなれ。しかし、まだまだ半人前。学ぶべきことはたくさんある。一人前を目指して努力しなさい。

蛙の子 井戸を飛び出し 世の中へ
山に登れや 海で泳げや
卒業、おめでとう。

コミュニケーション情報学科

5年間ありがとう ございました。 あっという間でしてが 楽しかったです。 5年間お世話に なりました。猪俣奈奈	みんなと切磋琢磨し 合える関係を築け たこと、そして充実し た5年間をみんなと過 ごせたことを誇りに 思います。磯上和志	みんなに支えられて 楽しい5年間を 過ごすことが できました。 ありがとうござい ました。伊藤きらら	ここには書ききれない くらい、本当に充実 して、本当に楽し い5年間だった!! ありがとうございま す。みんなで集まろうね! 稲村理奈	5年間ありがとう ございました。 良い思い出が たくさんありました。 大野綾平
言葉にするの ちょっと難しいけど 本当に出会えて 抽た思ってるよ 小野智輝	あっという間だった ような長かったような 5年間でした。 5年間ありがとう。 楽しかった。 小野 陽香	5年間、いろんな ことがありました。 みんなのおかげで 1の1だったです。 ありがとう。 櫻村華歩	5年間ありがとう ございました! あっという間でして。 皆と過ごせて、本当に 良かったです。☺ 金成 重実	辛いことも多々ありま すが楽しい5年間でした。 ありがとうございま す。卒業後もみんなと 頑張っていくぞ!! 北山 真希
私はみんながいて くれなかったら、きっと 卒業できなかったと 思います。本当にあり かとうございました。 木田 綾乃	5年間ものすごく 早く感じました。 本当ににお世話に なりました。 ありがとうございま した。斎藤雄介	またいつか会いたい みんなと会いたいです!! ステキな5年間を ありがとう!! お世話になりました!! 佐々木美帆	みんなとの 学生生活はすごく 楽しかったです。 これから時々は みんなで集まり ましょう!! 佐藤あゆ	あ、という間の5年間 でした。卒業後も お外に負けて、 みんなありがとう!! 佐藤 大一
"6"年間とても 楽しかった。 ありがとう!! 矢吹 新弥				みんなのおかげで 学校生活毎日と ても楽しく過ご すことができました!! ありがとうございました。 鈴木 綾花
みんな大好き。 ホントに。I love you!!! me too. 3.3。 みんな優しくしてくれて ありがとう。 鈴木 姫花	みんながめっちゃ 楽しい思い出が たくさんあった5年間 でした。みんな 本当にありがとう。 関根 季	周りに支えられて 5年間生活するの が良かったです。 本当にありがとうござ いました。楽しかった です。瀬谷 純菜	みんなと 楽しかったです! ありがとう ございました! 西山 奈津美	5年間ありがとう ございました!! 卒業してもいかに 残っているって、嫌で きたら遊んで下さい 根本 睦
みんなには 大変お世話になりました。 こんなバカでアホな私に 叱咤激励してくれて 本当にありがとう。 古沢 信伸	あっという間に5年間 過ぎちゃったけど 楽しい5年間でした。 ありがとうございま した!! 前田 美菜子	5年間ありがとう ございました。 次にみんなと再会 するのを楽しみに しています。 長谷川 俊希	充実した5年間 を過ごすことが できました。みんな のおかげでござい ました。劉 采島	Carpe Diem 目黒 茜
5年間お世話に なりました。 辛いことも楽しいことも 沢山あり充実した 高専生活でした。 ありがとうございました。 高橋あゆ	長いようで短い 5年間でした。 いろんなことがあ りました。楽し かったです。 ありがとうございま した!! 山崎 静夏	5年間お世話に なりました。 貴重な5年間を 過ごすことが できました。 山崎 勇輝	いろいろな思い出が たくさんあります。 5年間 ありがとうございま した。 吉田 侑楠	5年間お世話に なりました。楽しい あ、という間に時 間が過ぎました。 ありがとうございま した。 森谷 侑紀

祝 修了 機 械 ・ 電 気 シ ス テ ム 工 学 専 攻



修了する諸君へ

機械・電気システム工学専攻
専攻長 鈴木 晴彦

専攻科第9期生、機械・電気システム工学専攻2年生の諸君、専攻科修了おめでとう。全員がそろって専攻科を修了できたことを何よりも嬉しく思います。

8名の皆さんは、平成24年4月、新たな可能性を胸に専攻科への入学を決意しました。ですが、この時の世の中は、あの東日本大震災から1年が経過しただけで、これからの福島が、東北が、日本がどうなっていくのかを、誰も本当には理解できていない頃であったと思います。福島高専も同様でしたが、そのなかにおいて、専攻科にとっては、あらたな国際交流という扉がひかれる年でもありました。平成22年11月、フランス技術短期大学（IUT）への視察にはじまった国際交流の取り組みでしたが、この年、2名の専攻科生と1名の本科生を連れてフランスに渡れたことを、ひとりの教員として大変嬉しく、今では私の大切な思い出でもあります。

8名の皆さん全員との一番の真剣勝負は就職活動でしょうか？平成25年早々、それぞれの就活が始まりましたが、決してスムーズというわけではありませんでした。君たち一人ひとりの気持ちを確認しながら志望企業を確定し、また社会人としての一歩を踏み出すための心構えを、君たちとの模擬面接のなかで、育てていったような気がします。

最後に修了生に伝えたいことがあります。みなさんが身につけた様々な知恵は自分自身の研鑽によるものに他ならないのですが、それを経験する場は必然に用意されたものです。友人や恩師が、それを与えてくれたことを覚えていてください。専攻科修了おめでとう。

私の高専生活

機械・電気システム工学専攻
2年 箱崎 英俊

私の高専生活は7年間と長いものでした。もう入学したときの記憶は思い出せないほど昔のように感じます。冗談です。楽しい学校生活では7年間なんてあっという間に過ぎ去ってしまいました。特に専攻科に入ってから2年間なんて、まるで光の速さでした。

こんな私が無事に高専を卒業できるのは、まさに周囲の方々に助けていただいたおかげと思っています。先生方はもちろん、職員の方々、そして友人や家族、さらに売店、食堂、清掃でお世話になった方々まで…。正直、私は綱渡りのように、どこかギリギリで生活していたところがあり、どなたかひとりでもお世話になれなかったら、たぶんどこかでつまづいてしまったでしょう。

実は、専攻科にはなんとなく入学しました。まだ働きたくなかったのかもしれません。しかし、ここで体験したことは何事にも代えがたい貴重な経験でした。特に専攻長の先生らのご尽力により実現した、初のフランスへの国際インターンシップは大切な思い出です。初めて触れる異文化で多くの戸惑いを感じ、自分の視野の狭さがよくわかりました。今では専攻科に入ったことはいちばん良い選択だったと感じています。

来年から私は地元の復興関係分野の企業である古河電池で働きます。地元依存で、いわきがとても好きな私が、復興関連の仕事ができるのはとても嬉しいことです。面倒をみてくれた福島高専のみなさまへの恩返しのため、自分にできることはなんでもして働いていこうと思います。今までありがとうございました。

祝 修了 物質・環境 システム工 学専攻



習作と必然

物質・環境システム工学専攻
専攻長 車田 研一

皆さんの門出にわたしから言葉をお贈りするなどいかにもおこがましく、悩みますが、ひとつ考えていることを書いておきます。すこし変則的ですが、学校へいってある期間勉強するということの「意義」ではなく、学生として学校にいるあいだ必然的に強いられる関係性のことです。学生時代の活動は、なにであれ「習作」とみなされます。これは、質の成熟・未成熟の問題ではなく、あるルールなり慣例なりを踏襲しているか、否、すくなくとも踏襲をするふりをしていくか否か、という「二分法」の領域に、ことの良否や個々人の才覚いっさいを度外視してとどまることを強いられる、ということです。英語でtruncationということばがあり、これは「(錐などの無限に尖りうるものの) 先端を意図的にスパンと切りおとす」ことです。学校はその本性上、つねにこのtruncationを強行する装置であり、皆さんのなかには、その学校の本性に鬱々たる憤懣をいだくことがしばしばだった人も多はずです。(学生るとき、わたしもそうでした。) 学生としているあいだ、無限に尖るべき円錐の、むげに切りおとされた先端部分の見えない外縁を破線で虚しくおもいうかべながら、その周囲をうらみがましく無力に旋回する蠅のような気分です。が、いったん学校をでると、こんどは自分の「かお」でtruncationをしなくてはならないわけです。これは逆説的には、自分のかおでそれを拒否することや、程度を差配することができるということでもあります。そこでの決断のありかたは、一生涯にわたる自分自身のありかたの根幹的な部分に決定的に影響してきます。愚痴はいつていられなくなり、すれるにしても、あおいままであるにしても、すべて自分しだいです。要するに、習作としての活動と、それに付随する必然的な結果を保証する、このシンボリックな「装置」からはでていかざるをえず、強制的に区切りがうたれます。学校は皮肉にも学生時代というナイーブな円錐をも勝手にtruncateするのです。在学時に皆さんはこの学校というモノの選けがたい鈍磨的性格や野暮さをしばしば嘆いたでしょうが、逆説的にそれはそれでよいのです。あなたがたが示す学校への恩というのは、「感謝無礼」であってもいいこうにかまわない。ひょっとすると感謝さえなくてもよいのかも知れない。このさき、学校や恩師の「足らなさ」に、どれだけ痛烈なかたはらいたさを感じていただいてもかまわないどころか、それが恩返しなのだわたしは思います。そしていま、学校との習作的・必然的な関係性を、「時間がきた(The game is over!)」という事由で清算する契機を迎えた皆さんに羨望を覚えるのです。修了おめでとうございます。

出会いは偶然

物質・環境システム工学専攻
2年 渡辺 大樹

福島高专での生活も7年が過ぎようとしています。友達とのなにげない日々や部活、数多のレポートにテスト勉強。辛いこともありましたが、今となってはかけがえのない思い出です。

5年間で終わるはずだった高专生活。就職活動で忙しかったある日、東日本大震災が発生しました。この震災がきっかけとなり、私は入学当初から希望していた企業への就職を諦め、専攻科への進学を決めました。専攻科に入ってから、たくさんの人と出会い、励まし合い、支え合い、協力し合い、過ごしてきました。一人では挫折そうな時も、必ず誰かが助けてくれました。私は時々、「もし専攻科に入っていなかったら自分は今頃何をしているのだろうか、今みたいな楽しい生活を送れているのだろうか」と思うことがあります。その度に、近くにいてくれる仲間の大きさ、ありがたみを知ることができました。

専攻科の2年間では、多くの人と接することで視野が広がり、私自身を人間的に大きく成長させてくれました。このきっかけくれたのはあの日の地震です。人は何がきっかけで出会いが訪れるかわかりません。皆平等にたくさんの人と出会う可能性を秘めています。その中で、今自分と当たり前のように関わっている人、そのひとりひとりを大切にしてください。そうすれば必ずと幸せになれるはずです。私は真面目なことを言うのは得意ではありませんが、これが私から後輩へのメッセージです。皆様のご活躍をこれからはいわき市役所職員として心からお祈りしています。

最後に、長い間お世話していただきました先生方および関わってくださった全ての方々に感謝の意を示したいと思います。本当にありがとうございました。

祝 修了 ビジネス コミュニケーション学 専攻



7年間のキセキ

ビジネスコミュニケーション学専攻
専攻長 渡部美紀子

ビジネスコミュニケーション学専攻2年生5人のみなさん、専攻科修了おめでとうございます。心からお祝いを言わせていただきます。本当に、おめでとう。

みなさんにとってのこの7年間は、15歳から22歳までの、青年期の一番貴重で多感な年月の「軌跡」であったことでしょう。5年間の本科生活を終えてもなお2年間を共有した専攻科のメンバーとの繋がりはなおさらでしょう。学生生活のあいだに起こった震災の不安を共有し、仲が良すぎて遭遇したさまざまな出来事も含めて、密度の濃い7年間であったと思います。この濃密な時間は、みなさんそれぞれが体験した個々人の経験であるとともに、あとから振り返ると誰でもが共有しうる「輝石」のような思い出となることでしょう。

みなさんの前には、洋々とした未来が開けています。しかしみなさんが今、立っているのは、これから先たどっていく長い長い道程のほんの入口です。傍からはどんなに順風満帆に見える人生も、必ず山や谷や崖や川や、いろいろなものを乗り越えていくことになるでしょう。そしてそれが辛いと感じた時は、是非、高専で培ったコミュニケーション力を活かして乗り切ってください。人との出会いは、一つ一つが「奇跡」です。袖すりあうも他生の縁、人との関係をうまく構築でき、相手の気持ちを慮ることができれば、やがて自分に還ってくるものと思います。

ではお元気で、いつかまたお会いしましょう。

7年間の高専生活を 終えて

ビジネスコミュニケーション学専攻
2年 松田 美穂

私の福島高専での生活も残りわずかとなりました。22年のうちの7年間という長いようですが、時間はあっという間に過ぎていきました。特に専攻科の2年間は毎日が充実しており、本科で過ごした5年間と同じぐらい密度の濃い時間を過ごせたと思います。球技大会、学年行事などの楽しかった出来事はもちろん、就職活動中の不安な日々や価値観の違いに悩んだことも今ではいい思い出です。私にとって、友人と過ごす休み時間はとても大切なものでした。研究や勉強でストレスが溜まっている時、昼休みの短い時間でも誰かと話すことでスッキリすることができました。卒業が近づき、その何気ないひとときが終わってしまうことをとても寂しく思います。

入学してから今まで、私は素晴らしい先生方や友人に恵まれてきました。課題や定期テスト、特別研究、就職活動など、全てを1人でこなすことはできなかったと思います。自分の力で頑張ることも大切ですが、時には誰かの力を借りることも大切だと実感しました。本当に感謝しています。

4月から社会人になるということに少し不安もありますが、この学校での思い出や経験を糧に頑張りたいと思います。最後に、こうして無事にこの学校を卒業できるのは、支えてくださったみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。

平成25年度 卒業生・修了生の進路状況について

男女共同参画・キャリア教育支援室 キャリア教育担当責任者 山本 敏和

昨年度まで別個でありました「男女共同参画・女子支援室」および「進路対策委員会」が統合され、今年度から「男女共同参画・キャリア教育支援室」となりました。その中で今年度も旧進路対策委員会の業務を担当して参りました。今年度の本科卒業・専攻科修了学生につきましては、平成24年10月から就職ガイダンス、福島高専協力会企業による合同説明会、面接指導講習会、進路別学習、START一般常識・学力試験、R-CAP適職・適性診断、仙台での合同企業説明会への集団参加、公務員模試を実施して参りました。

25年度本科5年生の就職希望者は82名(男子50、女子32)、専攻科2年生の就職希望者は16名(男子11、女子5)でありました。本校には各科の就職希望者の19～31倍の求人を頂き、2月末現在の内定率は本科、専攻科ともに100%となりました。本科5年生の大学、専攻科等への進学希望者

は85名(男子60、女子25)専攻科2年生の大学院等への進学希望者は4名(男子3、女子1)であり、本科および専攻科ともほぼ全員進学先が決まっております。例年の通り、卒業・修了学生の進路がほぼ100%決定したのは、学生本人の努力がありましたことはもちろんですが、ご家庭、担任、専攻長をはじめとする先生方の御指導および書類の準備・発送等を担当された事務の方々のご支援の賜であります。また、これまでの卒業・修了生が各方面で活躍されていることが評価され、多くの求人、進学募集を頂きましたものと考えられ、誠に有り難いことです。

現在では、来年度の就職活動が始まっており、進学希望者も進学準備を進めています。平成26年度も学生諸氏の就職・進学活動が順調に進みますことをお祈り申し上げます。

本 科 生 の 進 路 (平成26年3月卒業)

() は女子学生

区 分	機械工学科	電気工学科	物質工学科	建設環境工学科	コミ情学科	計
卒 業 者 数	37(1)	29(2)	34(22)	35(9)	32(23)	167(57)
進 学 者 数	14(0)	12(1)	19(10)	20(1)	14(12)	79(24)
就 職 者 数	21(1)	17(1)	15(12)	13(8)	16(10)	82(32)
そ の 他	2(0)	0(0)	0(0)	2(0)	2(1)	6(1)

専 攻 科 生 の 進 路 (平成26年3月修了)

() は女子学生

区 分	機 械 ・ 電 気 システム工学専攻	物 質 ・ 環 境 システム工学専攻	ビジネスコミュニケーション学専攻	計
修 了 者 数	8(0)	7(2)	5(4)	20(6)
進 学 者 数	0(0)	3(1)	0(0)	3(1)
就 職 者 数	8(0)	4(1)	4(4)	16(5)
そ の 他	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)

学生会



次世代の学生会へ

前会長が、低学年と高学年を複合した学生会を創りあげてから早1年が経ちました。学生会を構成する執行役員のうち低学年が多いことで、次年度への引き継ぎが大変スムーズだった印象がとても強いです。昨年度、学生会の運営に携わった執行役員は、得たノウハウや反省点を今年度の運営に生かすことができたのではないのでしょうか。また、低学年から執行役員を選出するため、早い段階で若いリーダーのタマゴを見つけ出せていると思います。

若い執行役員のパワーとやる気でこれからもどんどん学生会を成長させてくれると思います。しかしながら、前だけを見続けて改革していったら、それは改革とは個人的には思いません。「なぜこのように運営しているのか？変えてしまえ」とすぐ変えてしまうのではなく、「昔の学生会はなにをもってこの方針にしたのか？」と、疑問をもって過去からしっかりと把握していくことを忘れないでほしいです。

学生のルールは自分たちで創り、守っていく。

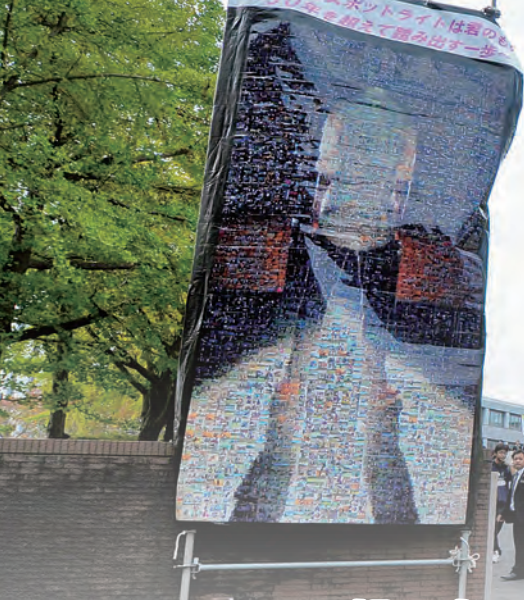
学生会長 機械工学科 4年 草野 翔

それが基本であり理想であります。若いリーダーのタマゴたちがこれからどんな学校を創り上げていくのか、今後の学生会の活躍に期待します。

平成26年学生会役員一覧

役 職	学 年 学 科	氏 名
学 生 会 長	建設環境工学科3年	宮脇 公平
学生会副会長	コミュニケーション情報学科3年	若松 未来
書 記	物質工学科2年	宗像 繭
書 記	物質工学科1年	高橋 昂太
書 記	建設環境工学科1年	星 達也
会 計	物質工学科3年	齋藤 快
会 計	コミュニケーション情報学科2年	西山 伊代
会 計	コミュニケーション情報学科1年	岸 佑里香
会 計 監 査	機械工学科4年	草野 翔
会 計 監 査	機械工学科2年	根本 卓明
会 計 監 査	物質工学科2年	星 柊充
運動部部長	物質工学科3年	佐藤 駿介
運動部副部長	建設環境工学科2年	井戸川将大
文化部部长	物質工学科3年	佐々木美佳
文化副部長	物質工学科2年	松井 萌
研究部部长	物質工学科3年	大坪 由貴
研究副部長	機械工学科2年	鳥羽 祐丘

※任期：平成26年度（H26.4.1～H27.3.31）
平成26年3月末時点



平成25年度磐陽祭開催報告

学生主事補 羽切 正英

今年度の『磐陽祭』は平成25年11月2日(土・非公開)・3日(日・一般公開)の2日間にわたり開催されました。11月2日には一般公開に向けて、急ピッチで準備が進められました。また、準備を終えて臨んだ前夜祭では、各学科の趣向を凝らした企画に会場が熱気と笑い声で包まれ、翌日の一般公開日に向けて学生は大いに気持ちを盛り上げていました。11月3日の一般公開においては創立50周年を記念して開催された昨年度と同じく、2,200人を超える方々にお越し頂き、盛況のうちに無事終了いたしました。また、今年度もオープンキャンパスとの同時開催となり、例年行われている専門学科、専攻科、各センターの公開に加え、地域復興支援室の取り組みについても紹介があり、来場者の関心を集めました。

無事に磐陽祭を開催できましたのは、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様のご理解、ご協力によるものです。心より御礼申し上げます。



磐陽祭を終えて

学生会磐陽祭実行委員長 建設環境工学科 4年 大平 哲也

今年度の磐陽祭は「新たな舞台 スポットライトは君のもの～50年を超えて踏み出す一歩～」というテーマのもと、学生1人1人が主役となり、また学生全員が丸となって長い時間をかけて準備してきました。

本祭のメインイベントとしていわき市のご当地アイドルとして活動されている、アイくるガールズの皆様にゲストとしてお越しいただき、会場一体となったステージを披露していただきました。その他にもロボット技術研究会の実演、吹奏楽部の演奏、演劇部の公演、ストリートダンス愛好会によるダンス披露、ライブ演奏などそれぞれの団体が見せた渾身のパフォーマンスは大いに会場を盛り上げ、特に大きな問題もなく前夜祭、本祭と2日間にわたり大盛況のうちに終了することができました。これも保護者の皆様、地域の皆様、またご協賛いただきました多くの企業の皆様のご理解、ご協力によるものであり、実行委員一同より心から御礼申し上げます。



高専ロボットコンテスト全国大会

指導教員 物質工学科 天野 仁司

高専ロボコンはスポーツです。しかし、どれだけ有名な選手でも、初めから納得のいく競技ができるわけではありません。失敗して、そこで何かをつかむから成長できるのです。今年度の全国大会出場したのは3年生以下の学生の若いチームでした。そのため、アスリートに必要な心技体は不十分でしたが、あの後方宙返りからもわかるように、熱心に取り組む姿勢や、工夫して他にないものを作ろうとする意気込みは十分に感じられました。これが、全国大会出場権を獲得した要因でしょう。来年度の飛躍を期待しています。

さて、今年度の大会は終了時刻が大幅に遅くなりました。閉会式の途中で、帰りの電車に乗るためのデッドラインを越えそうになり、「福島高専だけ先に帰してください」とお願いしたら、「実は、ベスト・ビデオ賞の表彰がありますので…」と、NHKの方が。やむを得ないので選手3人を残し、ピットクルーを連れて両国駅にダッシュとなりました。これはロボットの賞ではないので、紹介ビデオを作った大家さんの手柄ですね。

(※残った選手3人は表彰式に出席したあと、応援団の労いをうけながら一緒にバスで帰ってきました。)

ベスト・ビデオ賞の
紹介ビデオを制作した
2Eの大家さん▶



▲全国大会に出場
した選手とロボット
たち



ピット
(東の支度部屋)
の様子▶

全国高専プログラミングコンテスト

プログラミングコンテスト指導教員 小泉 康一



平成25年10月13日(日)、14日(月)の両日、北海道旭川市民文化会館にて第24回全国高専プログラミングコンテストが開催されました。今回のプロコンには、与えられた課題である「ICTをサポートする明るい少子高齢化社会」をテーマとしたプログラミング作品を披露する課題部門と、自由なテーマで独創的な作品を披露する自由部門、そして毎年変わるルールによる高専間対抗戦である競技部門の3つの部門があり、福島高専からは4年電気猪野康弘君、同小林尚輝君、2年電気大田晃平君のチームが競技部門に参加しました。今回の競技は、何個かのさいころをつかって1人が問題文を暗号化し、問題文を知らないメンバーがそれを写真にとってコンピュータに解析させ、短時間でより早く暗号文を作成、解読すると勝ち、というルールでした。努力及ばず福島高専チームは準決勝で敗退という結果となりました。応援してくださいました皆様には御礼を申し上げます。



全国高専デザコン2013in米子の報告

デザイン創造研究会指導教員 根岸 嘉和

今年度の高専デザコンの結果について報告いたします。
会場(担当): 米子コンベンションセンター (米子高専・松江高専)
期 日: 平成25年11月9日(土)・10日(日)
種 目: 構造デザインコンペティション部門
下端4点支持(900mm×900mm)・上端(300mm迄)
2点(300mm)交互载荷(300kg迄)の、桧材骨組構造
(400g迄)の強度コンテスト

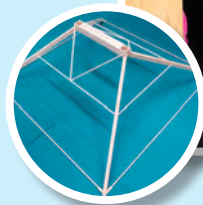
結 果: 「Attack on Roof」耐荷力 110kg 17位/ 61作品
＝磯上友輝 (3K)・○金成雅季 (3K)・鹿又喜憲 (2K)
「あめんぼもどき」耐荷力 30kg 49位/ 61作品
＝伊藤勇樹 (3K)・○遠藤健悟 (3K)・原田麻衣 (3K)

今年度は、従前の中実の棒材のみによる製作から脱皮して、①薄肉部材を作って組み上げる。②極細の引張材を組み入れる。の2点の技術を導入した高性能なモデル製作を目指し、バルサ材で予備製作に入った8月から、出場モデル完成の11月迄、休日を含めほぼ毎日、機械実習工場を中心に熱心に取り組んだ結果、昨年度より向上することができました。

次年度は、現時点で欠けている、①3次元CADによる設計と解析。②早期着工により、完成品で出場。の2点も実現し、更なる向上を目指す努力の継続を願っています。

なお、【環境デザイン部門】の予選に、下記の作品が出場しました。

「子どもも大人もみんな生き生き皆生温泉」＝太田一央 (5K)・吉田将大 (5K) 指導教員: 齊藤充弘



全国高等専門学校 英語プレゼンテーションコンテスト報告

英語プレゼンテーションコンテスト指導教員 加藤 明子



平成26年1月25日、26日に国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、第7回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストが行われました。本校からは、コミュニケーション情報学科2年の館野涼さんがスピーチ部門に参加しました。「韓国と日本の関係」について自分の意見を展開し、審査の結果、2位に入賞しました。

原稿作成で助言をいただいた高野先生、スピーチ練習で有意義なコメントをいただいた英語科の皆様、ありがとうございました。特に、ジョン先生、石原先生、第4回スピーチコンテスト優勝者であるコミュニケーション情報学科5年の目黒茜さんには細かい指導をしていただき大変感謝しております。来年度は、プレゼンテーション部門、スピーチ部門両方の全国大会参加、そして上位入賞をねらっていきたいと思います。

体 育 部

◎平成25年度福島県高等学校新人体育大会 県大会

■ソフトテニス (男子)

団体戦		第3位
ダブルス	武藤 尚樹 (2 K)	ベスト16
	赤津 利也 (2 E)	

■ソフトテニス (女子)

団体戦		2回戦敗退
ダブルス	坂下和香奈 (2 C)	2回戦敗退
	石井 佑香 (1 C)	

■卓球 (男子)

学校対抗		第3位
	(東北高校選抜大会出場)	
ダブルス	安齋 正樹 (2 K)	第3位
	矢内 智大 (2 M)	
〃	鯨岡 康佑 (2 E)	ベスト16
	高信 京介 (2 E)	
シングルス	安齋 正樹 (2 K)	第1位
〃	矢内 智大 (2 M)	第3位
〃	高信 京介 (2 E)	3回戦敗退
〃	鯨岡 康佑 (2 E)	2回戦敗退

■卓球 (女子)

学校対抗		第1位
	(東北高校選抜大会出場)	
ダブルス	大浦 悠 (2 K)	第1位
	佐藤 泉 (1 I)	
〃	猪狩 栞菜 (1 I)	ベスト8
	鈴木 結稀 (1 K)	
シングルス	大浦 悠 (2 K)	第3位
〃	佐藤 泉 (1 I)	第3位
〃	猪狩 栞菜 (1 I)	ベスト8
〃	鈴木 結稀 (1 K)	3回戦敗退
〃	原 郁乃 (2 I)	2回戦敗退

■バレーボール (男子)

団体戦		1回戦敗退
-----	--	-------

■バドミントン (男子)

ダブルス	佐藤 将時 (2 K)	3回戦敗退
	下山田 亮 (2 E)	

■弓道

男子個人戦	土井 文晶 (2 E)	予選敗退
〃	今野 和樹 (1 K)	予選敗退
女子個人戦	諏江 なつき (2 C)	予選敗退
〃	横田 美月 (1 K)	予選敗退

◎第58回福島県高等学校駅伝競走大会

男子チーム		第18位
-------	--	------

◎第11回福島県高等学校秋季ソフトテニス選手権大会

男子団体戦		第3位
-------	--	-----

◎第42回福島県高等学校ソフトテニスインドア選手権大会

団体戦		1回戦敗退
個人戦	武藤 尚樹 (2 K)	2回戦敗退
	山口 敦士 (2 M)	

◎第37回NHK杯福島県クラブ対抗ソフトテニス大会

団体戦		予選リーグ敗退
-----	--	---------

◎第33回福島県春季選抜ジュニアシングルステニス選手権大会

U18男子シングルス	菊池 洋輝 (2 M)	2回戦敗退
〃	宮嶋 豪 (2 C)	2回戦敗退
〃	市川 希 (2 K)	2回戦敗退
U18女子シングルス	高橋なるみ (2 K)	3回戦敗退

◎第2回福島空港公園秋季選抜ジュニアシングルステニス大会

男子シングルス	1・2位トーナメント	
	菊池 洋輝 (2 M)	第6位
女子シングルス	1・2位トーナメント	
	高橋なるみ (2 K)	第8位

◎第42回会津白虎杯卓球大会

男子団体戦		第3位
女子団体戦		第1位

◎平成25年度福島県卓球選手権大会兼全日本卓球選手権県予選会

ジュニア男子シングルス	安齋 正樹 (2 K)	第1位
	(全国大会出場)	
〃	矢内 智大 (2 M)	ベスト16
〃	鯨岡 康佑 (2 E)	2回戦敗退
〃	高信 京介 (2 E)	1回戦敗退
ジュニア女子シングルス	佐藤 泉 (1 I)	第3位
	(全国大会出場)	
〃	大浦 悠 (2 K)	ベスト8
〃	猪狩 栞菜 (1 I)	ベスト16
〃	鈴木 結稀 (1 K)	4回戦敗退
混合ダブルス	中丸 智貴 (4 E)	ベスト16
	滑川 侑佳 (4 I)	
〃	青木 勇斗 (4 M)	3回戦敗退
〃	今野小百合 (4 K)	
〃	安齋 正樹 (2 K)	3回戦敗退
〃	大浦 悠 (2 K)	
〃	矢内 智大 (2 M)	2回戦敗退
〃	佐藤 泉 (1 I)	
〃	富塚 俊太 (4 K)	1回戦敗退
	紺野千有希 (磐城第一高校)	
〃	木田 貴文 (3 C)	1回戦敗退
	齋藤佳菜子 (3 I)	
男子ダブルス	佐藤 勇人 (1 C K)	ベスト16
	桑嶋 隆 (長岡技大・0B)	
〃	安齋 正樹 (2 K)	ベスト16
	矢内 智大 (2 M)	
〃	中丸 智貴 (4 E)	3回戦敗退
	青木 勇斗 (4 M)	
〃	渡辺 大樹 (2 C K)	2回戦敗退
	永井 一喜 (Team Sankyo)	
〃	富塚 俊太 (4 K)	1回戦敗退
	鈴木 孝幸 (3 E)	
女子ダブルス	滑川 侑佳 (4 I)	ベスト8
	今野小百合 (4 K)	
〃	大浦 悠 (2 K)	ベスト16
	佐藤 泉 (2 I)	
〃	齋藤佳菜子 (3 I)	3回戦敗退
	猪狩 栞菜 (1 I)	
〃	原 郁乃 (2 I)	1回戦敗退
	鈴木 結稀 (1 K)	

男子シングルス	中丸 智貴 (4 E)	ベスト 8				(本選出場)
"	青木 勇斗 (4 M)	ベスト 16		"	滑川 侑佳 (4 I)	ベスト 8
"	安齋 正樹 (2 K)	ベスト 16		"	齋藤佳菜子 (3 I)	1 回戦敗退
"	木田 貴文 (3 C)	3 回戦敗退		"	佐藤 泉 (1 I)	1 回戦敗退
"	渡辺 大樹 (2 C K)	2 回戦敗退		"	猪狩 栞菜 (1 I)	予選敗退
"	鈴木 将士 (5 M)	2 回戦敗退		◎第42回東北学生陸上競技選手権大会		
"	矢内 智大 (2 M)	2 回戦敗退		男子走幅跳	吉田 将大 (5 K)	第17位
"	大浦 昌也 (5 E)	1 回戦敗退		"	鳥谷信太郎 (4 K)	第23位
"	富塚 俊太 (4 K)	1 回戦敗退		男子三段跳	鳥谷信太郎 (4 K)	第14位
"	鈴木 孝幸 (3 E)	1 回戦敗退		男子100m	吉田 将大 (5 K)	予選敗退
女子シングルス	滑川 侑佳 (4 I)	ベスト 16		"	庄司 陽 (4 K)	予選敗退
"	今野小百合 (4 K)	2 回戦敗退		男子200m	庄司 陽 (4 K)	予選敗退
"	齋藤佳菜子 (3 I)	2 回戦敗退		◎第7回日本ユース陸上競技選手権大会		
"	大浦 悠 (2 K)	2 回戦敗退		男子400m	古和口 廉 (2 K)	予選敗退
"	佐藤 泉 (1 I)	1 回戦敗退		◎第21回東北高等学校新人水泳競技大会		
◎第26回二本松の菊人形杯卓球大会				男子100m背泳ぎ		
男子シングルス	中丸 智貴 (4 E)	第3位			生方 歩高 (2 M)	予選敗退
"	木田 貴文 (3 C)	3 回戦敗退		男子200m背泳ぎ		
"	青木 勇斗 (4 M)	2 回戦敗退			生方 歩高 (2 M)	予選敗退
"	鈴木 孝幸 (3 E)	2 回戦敗退		◎第40回福島県ダブルステニス選手権大会		
"	富塚 俊太 (4 E)	1 回戦敗退		(ジュニアの部)		
女子シングルス	今野小百合 (4 K)	第1位		男子ダブルス	菊池 洋輝 (2 M)	ベスト 16
"	齋藤佳菜子 (3 I)	第2位		"	宮嶋 豪 (2 C)	
男子ダブルス	中丸 智貴 (4 E)	2 回戦敗退		"	市川 希 (2 K)	3 回戦敗退
"	青木 勇斗 (4 M)			"	鈴木 喬也 (1 C)	
"	木田 貴文 (3 C)	2 回戦敗退		"	大竹 克也 (2 M)	3 回戦敗退
"	鈴木 敏也 (いわき卓球)			"	廣渡 玲竜 (2 M)	
"	富塚 俊太 (4 K)	予選敗退		"	村上 健 (2 I)	2 回戦敗退
"	鈴木 孝幸 (3 E)			"	斑目 柊哉 (2 C)	
女子ダブルス	今野小百合 (4 K)	第1位		女子ダブルス	高橋なるみ (2 K)	第7位
"	齋藤佳菜子 (3 I)			"	嘉齊 滢 (2 I)	
◎第4回福島県小中高校生卓球選抜強化リーグ大会				"	篠原なつみ (1 I)	2 回戦敗退
男子第1組	安齋 正樹 (2 K)	第2位		"	蛭田 愛未 (1 C)	
"	矢内 智大 (2 M)	第4位		◎平成25年度全日本卓球選手権大会		
女子第1組	大浦 悠 (2 K)	第4位		ジュニア男子シングルス		
"	佐藤 泉 (1 I)	第5位			安齋 正樹 (2 K)	2 回戦敗退
" 第2組	猪狩 栞菜 (1 I)	第2位		ジュニア女子シングルス		
" 第5組	鈴木 結稀 (1 K)	第3位			佐藤 泉 (2 I)	1 回戦敗退
◎第66回東京卓球選手権大会福島県予選会				◎平成25年度第37回東北高等学校選抜卓球大会		
男子ダブルス	安齋 正樹 (2 K)	ベスト 8		男子学校対抗		予選リーグ 3 位
"	矢内 智大 (2 M)			女子学校対抗		予選リーグ 4 位
"	中丸 智貴 (4 E)	3 回戦敗退		◎第50回東北地区高専体育大会仙台大会		
"	青木 勇斗 (4 M)			ラグビーフットボール競技		
"	木田 貴文 (3 C)	2 回戦敗退			福島 0-87 八戸	
"	鈴木 孝幸 (3 E)			文化部・研究会・サークル		
女子ダブルス	滑川 侑佳 (4 I)	第2位		■写真部		
"	今野小百合 (4 K)	(本選出場)		・第20回東北地区高等専門学校文化部発表会		
"	齋藤佳菜子 (3 I)	2 回戦敗退		写真部門		
"	猪狩 栞菜 (1 I)				海原陽菜子 (1 M)	特選
"	大浦 悠 (2 K)	2 回戦敗退			草野 翔 (4 M)	入選
"	佐藤 泉 (1 I)				高橋 麗加 (3 E)	入選
男子シングルス	中丸 智貴 (4 E)	ベスト 8			小川 大雅 (3 E)	入選
"	青木 勇斗 (4 M)	2 回戦敗退		・平成25年度いわき地区高等学校写真連盟写真展		
"	矢内 智大 (2 M)	2 回戦敗退			小川 大雅 (3 E)	特選
"	木田 貴文 (3 C)	予選敗退			"	準特選
"	鈴木 孝幸 (3 E)	予選敗退			"	入選
女子シングルス	今野小百合 (4 K)	第3位				

高橋 麗加 (3 E)	準特選
〃	入選
下谷 大 (2 K)	入選 2 点
永山 綾士 (1 M)	入選
・古殿八幡神社例大祭撮影	実施
・平成25年度「古殿町秋のフォトコンテスト」	
草野 翔 (4 M)	応募
・いわき街なかコンサート in TAIRA 2013	
スタッフ撮影	実施
・いわき夏井川 (小川町) 紅葉撮影会	実施
・裏磐梯撮影会	実施
・白黒写真現像プリントワークショップ	参加
・第一回福島高専写真部写真展 (3/6-9)	実施
・H24福島高専写真部写真集	発行
■無線通信部	
・第2回全日本学生ARDF競技大会 (W21クラス)	第3位
■吹奏楽部	
・第35回定期演奏会	開催
・第51回いわき市吹奏楽新人演奏会	出演
・第41回福島県アンサンブルコンテスト	
いわき支部大会	打楽器六重奏 金賞
〃	フルート三重奏 銀賞
〃	管理三重奏 銅賞
・第41回福島県アンサンブルコンテスト打楽器六重奏	銀賞
■茶華道部	
・第35回いわき学校茶道連盟合同発表会	参加
■ストリートダンスサークル	
いわき街なかコンサート in TAIRA 2013	参加
■演劇部	
・いわき地区高校演劇ワークショップ	参加
・第56回いわき地区演劇コンクール	優秀賞 2 席
◎アイデア対決・全国高専ロボコン2013東北地区大会	
・福島高専Aチーム「Acinokickx」	
藤井 樹 (3 C)	
大坪 由貴 (3 C)	
強口 藍子 (1 M)	1 回戦敗退
・福島高専Bチーム「サルク・ドゥ・ソレイヌ」	
小野 敬裕 (3 M)	
鳥羽 祐丘 (2 M)	
星 柁充 (2 C)	
	技術賞(全国大会出場)
◎アイデア対決・全国高専ロボコン2013 全国大会	
・福島高専Bチーム「サルク・ドゥ・ソレイヌ」	
小野 敬裕 (3 M)	
鳥羽 祐丘 (2 M)	
星 柁充 (2 C)	
	ベスト・ビデオ賞
◎全国高等専門学校第23回プログラミングコンテスト	
【課題部門】	
タイトル「歩太郎」	
青木 僚平 (4 E)	
岩本慎太郎 (4 E)	
松山 俊 (4 C)	
遠藤 優斗 (3 E)	
原田 真衣 (3 K)	予選敗退
【自由部門】	

タイトル「TraOn -比べて分かる試着室-」	
馬目 華奈 (3 I)	
永井 智志 (3 E)	
吉渡 匠汰 (2 C)	
鈴木 侑斗 (2 E)	予選敗退
【競技部門】	
タイトル	
「(問題文ください……こいつ、直接脳内にっ……!-)」	
猪野 康弘 (3 E)	
小林 尚輝 (3 M)	
大田 晃平 (2 E)	本選出場
◎全国高等専門学校デザインコンペティション2013	
【構造デザイン部門】	
・作品名「あめんぼもどき」	第49位
伊藤 勇樹 (3 K)	
遠藤 健悟 (3 K)	
原田 麻衣 (3 K)	
・作品名「Attack on Roof」	第17位
磯上 友輝 (3 K)	
金成 雅季 (3 K)	
鹿又 喜憲 (2 K)	
【環境デザイン部門】	
・作品名「子どもも大人もみんな生き活き皆生温泉」	
太田 一央 (5 K)	
吉田 将大 (5 K)	
◎第5回東北地区高等専門学校英語スピーチコンテスト	
館野 涼 (2 I)	準優勝
樋渡 玲依 (3 I)	出場
◎第7回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト	
スピーチ部門 館野 涼 (2 I)	準優勝
■分子生物学愛好会	
第6回先端ものづくりチャレンジin習志野	
ロボット競技部門	
マシン名「ふみちゃん2013」	
小林 翠 (4 C)	
菅原 佳奈 (3 C)	
齊藤 玲子 (2 C)	
笹川 桃佳 (1 C)	
清水 和恵 (1 C)	最優秀賞

学会表彰

◎社団法人日本機械学会 (昌山賞)	
乙山 克彦 (5 M)	
◎電子情報通信学会東北支部 優秀学生賞	
五十嵐 礼 (5 E)	
◎電気学会東北支部 優秀学生賞	
長久保将大 (5 E)	
◎日本化学会東北支部長賞	
小泉 亜未 (5 C)	
◎全国高専土木工学会 (近藤賞)	
菅野 蓮華 (5 K)	
◎社団法人全国経理教育協会 表彰	
鈴木 綾花 (5 I)	
関根 季 (5 I)	
真部 俊希 (5 I)	

退職あいさつ



前校長
奈良 宏一

平成19年4月に、福島高専に第7代校長として赴任してから7年が経ちました。ちょうど、私が最初に入学を許可した学年の専攻科生を修了させて福島高専の職務を終える巡り合わせとなりました。

福島高専に赴任後、この高専が活気にあふれ、地域から頼りにされる高専であり続けることを目指して行動してきたつもりです。たとえば、高専ロボコンでおよそ1年おきに全国大会に出場してテレビで全国放送されたことなど、本校の学生や教職員の活躍がテレビ・新聞等で報道される機会も大幅に増えて、地域における福島高専の知名度が徐々に上がってきたことを実感しています。

在任中に福島高専は創立50周年を迎えました。大きな足跡を刻む50周年に校長であったことを光栄に思っています。50周年記念式典では多くの皆様からご祝辞をいただき、同窓生や地域の皆様から本校の活動への高額のご寄付もいただきました。福島高専への大きな期待を感じており、改めてお礼を申し上げます。ところで、福島高専は桜の名所として地域の皆様の憩いの場となっていますが、創立当初に植樹されたソメイヨシノの樹齢は寿命とされる50年に近づきつつあります。この先、キャンパスから桜が無くならないよう、50周年にあたり桜の苗木100本（エゾ山桜50本、ソメイヨシノ50本）を寄贈し、植樹させていただきました。大きく育てていただければと存じます。また、創立50周年後に福島高専が果たすべき使命を確認するために50周年後プランを学内で検討して作成しました。次の50年に向かって福島高専が大きく羽ばたいてくれることを期待しています。

2011年3月11日、東日本大震災が発生し、この地域は、大地震と大津波に襲われました。大津波に流される街並みの実況映像をテレビ画面で見ながら、私自身、この時ほど、技術者として何も出来ず、自らの無力さを感じたことはありませんでした。福島高専では、幸いにして、学生や教職員本人には人的な被害はありませんでしたが、家族や家屋に被害を受けた方が多数ありました。この影響は今に至るまで続いています。この地域は、地震・津波被害に加え原発事故による放射線の恐怖にも晒されました。校内には、帰宅できない学生や教職員ばかりでなく、近隣の住民や原発避難地域の方々にも避難していただきました。避難者に安心して本校に滞在いただき、かつ、学校自体の放射線からの避難の必要性も考慮しながら、学校の再開を何時どのように行うべきか、情報が錯綜する中で、さまざまな対応にあたったことが思い出されます。当時の原発の状況を思い起こすと、福島高専が同じ場所で継続して活動を再開できたことは、極めて幸運であったと感じています。

震災から3年が過ぎましたが、まだ、この地域の復興は緒に就いたばかりで、地域復興に必要な人材の育成が福島高専の大きな使命となっています。特に、福島県が標榜する再生可能エネルギー立県を推進していくための人材、事故原発の廃炉実務を支える人材、不足する建設関係の人材の育成は地域にとって焦眉の急です。そのため、福島高専ではこの分野での専攻科学生定員を5名増員した復興人材育成事業を推進してきています。50周年後プランにも、地域の復興支援並びにそのための人材育成が福島県浜通り地域にある福島高専の使命であることを謳っています。このような努力が必ず「地域の福島高専」としての信頼と繁栄に繋がるものと信じています。

最後になりましたが、福島高専の益々の発展を祈念致すと共に、この7年間、学校運営を支えていただいた学生・保護者・教職員並びに地域の皆様に感謝とお礼を申し上げます。





電気工学科
春日 健

退職のあいさつ

「拳拳服膺」より良い人生を送るために、もちつづけている座右の銘です。
在職中、多くの人々と出会い、多くのことを学び、そして、多くのことを教えられました。

心に刻んで忘れないこと、人の教えや言葉を大切に、今後、それらの事柄を財産として、日々、社会教育の推進に、微力を尽くしていきたいと考えております。



事務部長
飯田 恭市

平成22年4月に福島高専に赴任してから、あっという間に4年が過ぎた気がいたします。赴任した年の3月に東日本大震災に遭遇し、校長の指揮の下、危機管理室の一員として学校再開に向けて過ごした日々がついこの間のように感じられます。

機会があって、大震災の少し前と2年後に福島第一原発を訪問し、そのすさまじい変わりように驚愕するとともに、その中で事故収束に奮闘する福島高専卒業生と出会うことが出来ました。復興に向けての道のりは、まだまだ長く続くことと思われませんが、復興人材の育成は福島高専にしか出来ない事業です。今後は遠くからとなりますが、エールを送り続けたいと思っています。4年間ありがとうございました。



一般教科
高橋 圭介

この度、福島高専を退職し、北海道教育大学函館校へ転出することとなりました。福島高専には、博士の学位を取得後すぐに着任し、7年間お世話になりました。その間、二度の担任、寮務主事補、サッカー部の顧問などを担当させていただきました。ここでしか味わえない貴重な経験を積ませていただいたことを、心より感謝申し上げます。

こうして振り返ってみると、私が多くの時間を費やした業務は、学生と身近に接する機会の多いものばかりでした。特に担任業務に関しては、よい思い出とともに苦い経験も思い出されます。私が最初に担当したクラスは人間関係が複雑で、勉強そのものよりもまず勉強する環境作りが容易ではありませんでした。その経験を踏まえ、まずはクラスメイトの関係が良好で、学生が楽しいと思える教室作りを心がけてきました。その結果、自由奔放で個性豊かなクラスになったことは、(周りの先生方にはご迷惑をおかけしましたが、)学生にとってはよかったのではないかと考えています。今後は、どんなことでもそこそここなすというだけでは立ち行かなくなってくるでしょう。学生には自分の個性を存分に発揮して未来を切り開いてほしいと願っています。

最後に、お世話になった教職員の皆様、授業に活気をもたらせてくれた学生諸君にあらためて御礼申し上げます。どうもありがとうございました。



建設環境工学科
森田 年一

この度、福島高専を離任することになりました。平成14年4月に着任以来、12年間にわたり、皆様方には様々な場面でいろいろと助けていただきました。重ね重ね、心より御礼申し上げます。有難うございました。

福島高専着任前は、運輸省・国土交通省で研究職・行政職の国家公務員であったため、3～4年ごとに異動を繰り返しておりました。福島高専に着任した際にも、東北地方には地縁・血縁が全く無かったこともあり、「また、3～4年で次の部署に異動することになるんだろうなあ」と考えておりましたが、福島高専・いわき市・福島県のいずれにおいても、とても居心地が良く、思いのほか長居をしてしまいました。このような環境で過ごさせていただいたということにつきましても、皆様方に感謝申し上げたいと思います。有難うございました。

最後になりますが、皆様方の御多幸を心よりお祈り申し上げ、離任の挨拶とさせていただきます。



コミュニケーション情報学科
渡部美紀子

お礼の言葉

今年はいわきでも何十年に1度と言われる積雪で、寒い冬でした。久しぶりに暖かさを感じながら敷地内を歩き、青空を見上げて今さらのように「いわき」についてのこのフレーズを思い出しました。「冬暖かく、夏は涼しく、1年を通して住みやすい。」

私の好きな于武陵の『勸酒』という詩の末節に「人生別離足(人生別離足)」という言葉があります。『『サヨナラ』ダケガ人生ダ』という名訳を残したのは井伏鱒二ですが、この詩を思い出すたびに私なりの感慨に浸ります。単に、人生は出会いと別れの繰り返しであるという意味を超え、今の私を形作っているものは、たくさんの素晴らしい出会いとそれに伴う驚愕・刺激・発見・憧憬・自己洞察などの様々な少しずつの堆積であり、それは別れがあるからこそより深く鮮明に刻まれてきたのではないかと。そしてお陰さまでこの9年間のあいだに、またたくさんの堆積ができました。

これまでお世話になったコミュニケーション情報学科をはじめとする教職員のみなさま、卒業生と在校生のみなさん、そしていわきの地にも衷心より感謝の気持ちを述べさせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

建設環境工学科棟の改修工事を行いました。

9月に建設環境工学科棟の改修工事が完了しました。間取りの変更と断熱改修、設備の更新により機能の向上が図られました。コモンスペースもでき、より一層勉学に励む環境が整いました。



暁寮の改修工事を行いました。

2月に暁寮の改修工事が完了しました。耐震性能と断熱性能の向上が図られました。

美しく生まれ変わった暁寮で、快適な寮生活を送ることができます。



高等学校等就学支援金

高等学校等就学支援金は、家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、平成22年4月から始めました公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する制度です。

国立高等専門学校（第1学年～第3学年）も就学支援金制度の対象となっており、月額9,900円（年額118,800円）の就学支援金が支給されます。支給期間は、原則として通算36月です。

また、保護者の所得に応じて一定額が加算される加算支給制度があります。

なお、平成26年4月から所得制限を設けた新制度が実施される予定ですが、平成26年3月以前から在学している方は、現行制度の適用となります。

奨学制度・授業料免除制度・高等学校等就学支援金についてのお問い合わせは 学生課学生支援係まで TEL 0246-46-0734

授業料免除制度

授業料の免除は、経済的理由により納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合に、前期・後期ごとに本人の申請（前期の授業料の免除申請の際に併せて、後期の申請も可能です。）に基づき選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除する制度です。選考は家計・学力・人物について免除選考基準により、学生委員会で審議します。

経済的理由による授業料免除の対象となるのは、4年生・5年生・専攻科生となります。

3年生以下につきましては、左記の高等学校等就学支援金制度が適用されるため、経済的理由による授業料免除の対象とはなりません。

（平成25年度は、東日本大震災により被災した学生を対象とした特別措置の授業料免除については、3年生以下も対象となりました。）

経済的理由による授業料免除の申請時期は、前期分は3月下旬、後期分は9月中旬となっておりますが、事前の説明会で免除申請用紙を配付し、併せて申込み締切り日についてお知らせします。なお、説明会の日程については、掲示・放送および学級担任・専攻長からお知らせします。

平成26年度 行事予定(前期)

4月

- 2日(水) 開寮(13:00)
- 3日(木) 入学式(本科・専攻科・編入学生)
新入寮生歓迎夕食会
- 4日(金) 始業式
新入生オリエンテーション
専攻科ガイダンス
交通安全教室(1年)
- 7日(月) 前期授業開始
- 9日(水) 新入生学力テスト(1年)
第1回TOEIC-IP試験(5年・専2年)
- 10日(木) 寮防災訓練(1年)
- 16日(水) 木曜振替授業
- 17日(木) 定期健康診断(臨時休講)
- 21日(月) 心と体の健康教室(1年)
- 23日(水) 基礎学力標準試験(化学)
(工学系4学科の3年生対象)
- 26日(土) 新入寮生歓迎行事
- 27日(日) 開校記念日
- 29日(火) 公開授業
- 30日(水) 学生総会

5月

- 7日(水) 全校・校外清掃日
- 12日(月) ～16日(金)
専攻科推薦入試・社会人入試願書受付
- 14日(水) 後援会総会・学級懇談会・寮保護者会
- 22日(木) ～6月4日(水)
前期中間試験期間
- 22日(木) 共通科目試験日
- 24日(土) 専攻科推薦入試・社会人入試
- 28日(水) 共通科目試験日

6月

- 9日(月) ～13日(金)
専攻科学力入試願書受付
- 11日(水) 第2回TOEIC-IP試験(4年・専1年)
- 18日(水) 学級委員長との懇談会
- 21日(土) 専攻科学力入試
- 23日(月) TOEIC-IP試験説明会(3年)
- 25日(水) 学生会AED講習会

7月

- 2日(水) 消費生活安全教室(5年)
- 4日(金) 学生臨時休業
- 4日(金) ～6日(日)
東北地区高専体育大会(八戸・福島)
- 7日(月) 学生臨時休業
- 8日(火) 月曜振替授業
- 9日(水) ～11日(金)
編入学(推薦)願書受付
- 16日(水) 交通安全教室(3年)
- 19日(土) 編入学試験(推薦)
- 24日(木) ～30日(水) 前期期末試験
- 30日(水) インターンシップ事前指導会(4年)

8月

- 1日(金) 補講日、1日体験入学準備日
- 2日(土) ～3日(日) 1日体験入学
- 4日(月) ～6日(水) 編入学(学力)願書受付
- 6日(水) 集会、教室整備
- 7日(木) 金曜振替授業
- 8日(金) 寮大掃除
- 8日(金) ～9月24日(水) 夏季休業
- 9日(土) 閉寮(10:00)
- 11日(月) ～15日(金) 学校閉鎖

9月

- 9日(火) 編入学試験(学力)
- 24日(水) 開寮(13:00)
- 25日(木) ミニ研究準備・発表会
- 26日(金) 集会、寮防災訓練、専攻科集会
- 29日(月) 校内体育大会
- 30日(火) 補講日
- 30日(火) ～10月3日(金) 再試験期間

編集後記

今年度も皆様のご協力により、「学校だより」2回発行ができましたことに感謝致します。次年度は、内容・構成等の検討をおこない、改善に努めていきますのでよろしくお願い致します。

広報委員長 根岸 嘉和